

議会だより

12月定例議会号
令和3年2月1日発行

雪はともだち
さむくはないわ



12月定例会

1億2100万円増額 令和2年度 補正予算	P. 2
洋上風力発電計画 意見書を県へ提出	P. 4
白熱最終日(2議案、賛否分かれる)	P. 6
一般質問(10人登壇)	P. 8
まちづくり政策提言	P.14
「町民と議会の懇談会」報告	P.16
シリーズ遊佐人 ④	P.19
議会クイズ・編集室より	P.20

遊佐小学校 雪あそび
関連記事 P.20

令和2年度 補正予算質疑 12月11日

補正予算審査特別委員会



委員長 菅原 和幸
副委員長 佐藤 光保

補正予算では市街地の防犯灯整備等、町の喫緊の課題を整備する予算が提案され、1億2100万円の追加予算が審議され可決した。

補正のポイント

●地域環境整備に		●町民の暮らし整備に	
松くい虫防除(町独自)	900万円	持ち家住宅・新生活様式リフォーム支援金	1300万円
●ふるさとづくり寄附金		●安心の町づくりに	
ふるさと納税申込増返礼に係る諸経費	1億円増収 5535万円	防犯灯整備工事	394万円
		消防遊佐分署外灯設置工事	200万円
		●教育環境整備に	
		小・中学校特別教室エアコン工事	4850万円
		体育館防火扉更新不足額	180万円



問 遊佐元町街路灯修繕として315万円計上された。事業完了予定は。

答 188基のうち80基が故障、うち16基は修理済みだが残り64基を令和2年度中に修理する。

問 暗くなった道を明るく灯せ

答 本問 知広 委員

総務課

問 津波避難は住民へ周知されていると思う。他に用途はないのか。

答 佐藤俊太郎 委員
県の補助金交付要綱によれば、補助対象事業は避難場所等に案内標識を設置する事業のみである。

問 津波避難は住民へ周知されていると思う。他に用途はないのか。

答 佐藤俊太郎 委員
県の補助金交付要綱によれば、補助対象事業は避難場所等に案内標識を設置する事業のみである。

問 制度の主旨に鑑み継続したい。次年度当初予算で検討をしている。

答 高橋 冠治 委員
制度の主旨に鑑み継続したい。次年度当初予算で検討をしている。

問 高齢者のペダル踏み間違いによる事故が多発している。補助制度の継続を。

答 高橋 冠治 委員
高齢者のペダル踏み間違いによる事故が多発している。補助制度の継続を。

問 肉用牛肥育経営補助金の内容は。

答 斎藤弥志夫 委員
牛肉の価格と補助の内容は。

問 肉用牛肥育経営補助金の内容は。

答 斎藤弥志夫 委員
牛肉の価格と補助の内容は。

問 米、赤肉メロン、小玉スイカ、庄内柿に加え、新たに鳥海あわび等が追加された。

答 那須 正幸 委員
米、赤肉メロン、小玉スイカ、庄内柿に加え、新たに鳥海あわび等が追加された。

問 ふるさと納税 その返礼品は

答 那須 正幸 委員
4億円に迫る寄附金があるがどのような返礼品を準備しているのか。

産業課

問 月光川土地改良区の水管理システム更新に伴う光回線引込工事費の10%を町が負担。

答 斎藤弥志夫 委員
月光川土地改良区の水管理システム更新に伴う光回線引込工事費の10%を町が負担。

問 月光川地区 水利施設整備 施設整備の内容と負担金の算出は。

答 斎藤弥志夫 委員
施設整備の内容と負担金の算出は。

問 プレミアム付商品券終了後の補完的効果として行うので、その効果に期待したい。

答 斎藤弥志夫 委員
プレミアム付商品券終了後の補完的効果として行うので、その効果に期待したい。

問 緊急支援の内容は効果があるのか。

答 斎藤弥志夫 委員
緊急支援の内容は効果があるのか。

企画課

コロナ禍支援の充実を

問 落ち込んでいる観光業への更なる支援を考えるべきでは。

赤塚 英一 委員

答 温泉施設について、過去5年間の入湯税を参考に、追加支援を検討している。

健康福祉課

水銀灯は故障前に更新を

問 故障後の対応では遅いのでは。更新時期を設定すべきではないか。

佐藤俊太郎 委員

答 故障前の更新はまだまだ使えるものを廃棄することになるので、故障後の修繕に対応する。

繰入金のおかげは

問 介護保険特別会計に217万5千円が繰入されたが、そのわけは。

本間 知広 委員

答 特別会計の事務費に対する繰入で、主なものはマイナンバー制度導入に伴うシステム改修費である。

教育課

町民体育館の防火扉更新工事

問 防火扉が自動で閉じた時の避難通路の確保は。

那須 正幸 委員

答 一旦閉じた場合でも避難者自身で開けることができ、近くに他の避難口も確保されている。

教育環境は整ったのか

問 小・中学校のエアコン設置工事。残っている教室はあるのか。

阿部 満吉 委員

答 音楽室など特別教室への設置工事である。図書室だけは天井が高く広過ぎるため、計画から除外した。

地域生活課

コロナ対策

リフォーム支援

問 新生活様式と町のリフォーム工事の併用は可能か。その申請方法は。

那須 正幸 委員

答 併用は可能。申請は別々で、支援金の限度額を活用すれば、リフォーム工事で100万円、コロナ対策工事で20万円の合計120万円の支援金が交付となる。

県産木材

新築住宅支援は

問 新築でどのくらい木材を使えば対象となるのか。町の支援金への上乗せは。

那須 正幸 委員

答 延べ床面積1.1㎡につき0.1㎡を乗じて算定した数量の100%以上かつ15㎡使用が条件となる。条件を満たせば50万円が上乗せとなる。

コロナワクチン

接種補助は

問 ワクチン接種の補助の検討を早急に始めるべきでは。

赤塚 英一 委員

答 ワクチン接種は原則として国が全額費用を負担する。町でも現在、準備を進めている。

放課後児童クラブの

スペース確保は

問 コロナ禍でも入所希望者は増えていて3密が懸念される。

高橋 冠治 委員

答 手洗い・消毒・換気の徹底のほか、屋外や体育館などの活用を図っている。



完全に閉らない町民体育館 西側防火扉

令和2年12月定例会本会議の中で、洋上風力発電事業計画が町民の理解を得られるよう配慮することと、新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見、誹謗中傷をなくし、共に支え合いながら、コロナ禍の困難な時期を乗り越えていくことを呼びかける議会決議を議員発議により全会一致で可決しました。

遊佐町沖洋上風力発電計画の

意見書

特段の配慮を求める 意見を県に提出

遊佐町沖で洋上風力発電事業が計画され、具体的に事業が動き出しています。

国内で実例のない大規模なものであり、町民からは景観や低周波を含む騒音、サケの母川回帰への影響、海底湧水への影響など多様な面で不安の声があがってきています。

最終的な事業者の決定は国が行いますが、県内においては、これまで県が主導してきた事業計画であり、県の果たすべき役割は極めて大きいと考えます。

議会としても、CO₂の発生しない再生可能エネルギーの重要性は認識しつつも、町民の生活・自然環境保全の観点から慎重な対応を求め、県に対し意見書を提出しました。

山形県知事殿

1. 今後の町民説明会にあたっては、フォトモンタージュを活用するなど、町民の不安や疑問に、より一層真正面から向き合うこと
2. 幅広い町民の合意を前提とした事業となるよう、事業者や国との調整を講ずること
3. 環境影響調査は予断を排し、環境保全や海洋資源保護の観点から実施されるよう、事業者にはたらしきかけること

令和2年12月11日

遊佐町議会

決議

新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、本県においても11月から感染者が急増しています。その中において私たちは感染拡大の防止に、細心の注意を払いながら、社会・経済活動の両立に向け懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先に対しSNS等の媒体による匿名での心無い誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

新型コロナウイルスは、気づかぬうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者をはじめ多くの方々が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

遊佐町議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、コロナ禍の諸問題に真摯に取り組んでまいりますので、町民の皆様におかれましても、共にこの困難を乗り越えてまいりましょう。

令和2年12月11日

遊佐町議会



誹謗中傷をなくし共に支え合うこと
により新型コロナウイルス感染症の
克服を目指す決議

12月定例会の議案内容（令和2年度一般会計補正予算他、14件）

議案番号	議案名	内容
議78号	令和2年度一般会計補正予算（第6号）	コロナ禍対応地方創生臨時交付金等により各事業の精査するなど1億2100万円を増額補正
議79～83号	令和2年度各特別会計補正予算	システム改修と事業の精査
議84号	遊佐町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例の制定	地方税法の一部改正に伴う、条例の条ズレを整備
議85号	遊佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	所得税法の一部改正に伴う、国保税の判定基準を軽減するもの
議86号	遊佐町環境基本条例の一部を改正する条例の制定	事業者と環境の保全に関して、町長だけでなく関係する地域住民・団体と協定を結ぶよう規定を追加
議87号	新庁舎備品の取得	庁舎フロアカウンター他、ロビー用、待合椅子等、8140万円取得するもの
議88号	スクールバス（中型）の取得	中型スクールバス2台を3048万円取得するもの
議89号	広畑橋下部工工事の請負契約の一部変更	元年度より着工の広畑橋橋台工事費の増額
発議9号	まちづくり政策提言の提出	P14～15に提言を掲載
発議10号	遊佐町沖洋上風力発電事業計画に関し特段の配慮等を求める意見書の提出	P4に意見書を掲載
発議11号	誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議	P4に決議文を掲載

11月臨時会【11月30日】の議案内容(条例案件2件)

議案番号	議案名	内容
議76号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	山形県人事委員会勧告に準じ、一般職の期末手当の引き下げを規定するもの
議77号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	上記の改定に鑑み特別職及び議会議員の期末手当の改定を行うもの

12月定例会 採決状況一覧 ○賛成 ×反対 議長（土門治明）は採決に加わらない

議員名 議案	本間	那須	佐藤	佐藤	齋藤	松永	菅原	赤塚	阿部	高橋	齋藤	土門	議決結果 (賛成：反対)
	知広	正幸	俊太郎	光保	武	裕美	和幸	英一	満吉	冠治	弥志夫	治明	
議78～83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議86号	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	—	否決 (5：6)
議87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議88号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10：1)
議89号	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	—	可決 (7：4)
発議9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
発議10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
発議11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)

11月臨時会

議76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)
議77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11：0)

傍聴者数

(単位：人)

日程	内容	計
臨時会	11月30日(月) 本会議	1
定例会	12月8日(火) 本会議・一般質問	22
	12月9日(水) 一般質問・補正予算上程	7
	12月11日(金) 補正予算特別委員会・本会議	1
計		31

議88号 スクールバス（中型）の取得に反対 佐藤 光保 議員

スクールバスでは、千回を超えて通学しても環境に馴染むことはない。晴れの日、雨の日、雪の日、毎日歩くことにより環境は血となり肉となる。「子どもと歩こう運動」YUZA宣言「基本認識1」「歩くことは、人間の基本であり、子ども時代にこそしっかりと身につける必要がある」だ。山本由美 和光大学教授いわく「学校がなくなれば、地域は間違いなく衰退し廃れていく。」「切磋琢磨は教育的俗説である。」



反対討論

白熱最終日

2 議案、賛否分かれる

12月定例会の最終日(12月11日)、補正予算など15件の採決が行われました。そのうち遊佐町環境基本条例の改正(議第86号)と広畑橋の工事費の増額(議第89号)を巡って大きく賛否が分かれました。議論の状況などをお知らせします。なお、議員ごとの賛否は5ページをご覧ください。

遊佐町環境基本条例の改正

環境基本条例なぜ改正

無防備ではないか

遊佐町環境基本条例には既に、「町長と事業者」間での環境の保全に関する協定について規定がある(15条)。だが「地域住民等と事業者」が直接協定を結ぶことに関し、条例上の定めはなかった。

そこで、民間同士の協定も条例に位置付けようと改正案が提出された。なお町によれば、今のタイミングで条例の改正を必要とするような具体的な事例(立法事実)はないことである。

本会議での議案は原則として質疑、討論、採決の順に取り扱われ、最終的な可否が確定する。このうち「討論」とは案件の採決前に賛成か反対かの意見を表明することで、その目的は、自分の意見に反対する議員や賛否を決めかねている議員を、自分の意見に賛同させることにある。討論を行うかどうかは、各議員の判断に委ねられている。今回は2人の議員が反対討論を行った。

齋藤武議員

▼協定は開発行為の許認可に影響することもあり、特に慎重な対応が必要

環境基本条例の改正案

「遊佐町環境基本条例」は平成15年に制定され、町の環境行政の基本理念と施策の基本的事項、及び町民や事業者等の責務などを定めている。

このうち、今回は第15条の改正が提案された。現行の条文は次のようになっている。

(環境の保全に関する協定の締結)

第15条

町長は、環境の保全上の支障を防止するため必要があると認めるときは、事業者と環境の保全に関する協定について協議し、その締結に努めるものとする。

改正案は15条に、新たに次の条項を加えるものであった。

第15条2項

事業者は、関係住民(周辺地域内に住所若しくは居所又は事務所若しくは事業所を有する者をいう。以下同じ。)との良好な関係を構築するよう努めるとともに、関係住民から生活環境の保全に関する協定の締結を求められたときは、誠実にその求めに応じるよう努めなければならない。

なお、環境基本条例を含め、各種の現行条例の全文は町ホームページの「例規集」で見ることができます。



下流から見た工事現場 右手が現在工事中

広畑橋は高瀬川をまたぎ白井新田・広野集落と北目・畑集落を結ぶ全長約30メートルの橋である。竣工が昭和31年で老朽化が著しく、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき新しい橋が隣に造られている。元年度は畑集落側、2年度は広野集落側の橋台建設が進められている。元年度も工事の途中で工事費の増額が行われたが、今回もほぼ同様な事態になった。

町の説明では、表面にはそれほど大きい石は見えなかったのですが、地下部も大きな石はないとの見込みで工事費の算出を行い、事業者も同様の見込みで入札をしたと思われる。し

広畑橋なぜ工事費増

入札方式の改善を

阿部満吉議員が次の理由で反対討論を行った。

▼昨年と同じ理由での増額提案であり、このような案件は他の市町村議会では厳しく判断されると考えられる。

▼工事費の試算にあたっては十分な調整を前提とした入札方式への改善を求める。



阿部 満吉議員

要だが、民間同士の協定の実効性の担保や事業者による一部住民等の懐柔を防ぐなどの規定がなく無防備

▼重大な条例の改正であり環境審議会でも検討すべきと思うがされていない。



齋藤 武議員

佐藤光保議員

▼改正に関して環境審議会を開催しない根拠に本条例の町長に対する委任の規定(31条)を挙げることは適切ではない。



佐藤 光保議員

広畑橋工事費の増額

1票差で否決

採決の結果、賛成5、反対6で改正案は否決された。

そもそも条例に規定がなくても、地域住民等と事業者は民間同士なので、いつでも任意に協定の締結は可

3票差で可決

能だと考えられる。しかし、もしこれが条例に基づく民間同士の協定であれば、様々な意味で重みは増してくるだろう。

過去に臂曲地区岩石採取事業でも、協定の在り方を巡って議論になった。これから洋上風力発電事業でも協定は焦点になる可能性がある。

かし掘り下げるとかなり大きな岩が姿を現し、結果として工事費用が当初の6996万円から約7773万円と、およそ777万円増額になった。

採決の結果、賛成7、反対4で原案通り可決された。

ある程度の規模の公共工事では、途中での増額がむしろ普通との考えもあるようだ。しかし民間の一般住宅などでは注文内容が変更しない限り、当初の契約金額通りでの工事が原則だろう。このギャップをどうとらえるのかで賛否が分かれたと思われる。

広畑橋は3年度以降も橋桁工事や旧橋の取り壊しなど事業は続く見込みであり、行方を注視していく。

一般質問 10議員登壇

12月8日・9日

町の事業と課題を問う

社会科の授業の一環で見学に訪れました



吹浦小学校6年生が3密を防ぐため2班（議場傍聴席、役場102会議室）に分かれて傍聴

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

一般質問通告の要旨

●印を次のページから13ページまで掲載
(通告順)

- 菅原 和幸 議員 P 9
「LINE」でより迅速な情報提供を
- 那須 正幸 議員 P 9
どうなる 旧八福神「共同加工場」
- 赤塚 英一 議員 P 10
教育現場でのデジタル対応は
- 齋藤弥志夫 議員 P 10
風力発電 近隣住民の健康調査を
福祉灯油券未申請者には代わりに商品券を
- 佐藤 光保 議員 P 11
小学校統合後の町職員の再配置は
- 松永 裕美 議員 P 11
災害時のペット同行避難の更なる明確化を
- 新庁舎に若人の豊かな発想表現の場を
高齡化対策「つなぐカード」の提案
- 本間 知広 議員 P 12
ふるさと納税 今後のスタンスは
- 佐藤俊太郎 議員 P 12
マツ材線虫病対策は確実か
高齡者の安全運転を支援するため補助金交付事業の現状
- 高橋 冠治 議員 P 13
コロナ禍での小学校統合の再検討は
熊出没に関して町の対応は
- 齋藤 武 議員 P 13
国の方針も踏まえ消防団の改善を
洋上風力発電事業計画 現時点での町の考え方は

「LINE」で
より迅速な情報提供を



すがわら かずゆき
管原 和幸
議員

町長
導入を検討

問 無料通信アプリ「LINE」を使用すれば、災害時の情報などを、早く、確実に提供できる。開設すべきでは。

答 あらゆる世代や生活様式にあわせ情報を届けられるよう、無料通信アプリの「LINE」も含めた新たな手段について、導入を検討する。

問 町のHPが複雑すぎとの意見がある。リニューアルの計画は。

答 HPの情報掲載は各課において行っており、リニューアルする予定はない。

問 「行政事務のデジタル化」への職員体制は。職員の意見の反映も。

答 県に情報提供をお願いしている。3年度の組織改編に向けては、ICT戦略推進室の設置を検討している



“クリック”するとHPにつながる

酒田市は昨年12月に開設

どうなる 旧八福神

「共同加工場」



なす まさゆき
那須 正幸
議員

町長
3年度からスタッフ常駐

問 4月から稼働の共同加工場の利用頻度が見えない。今後どのような計画で事業を進めて行くのか。

答 農閑期となる12月より見学会や研修会を毎月開催し施設の利用推進を図る。3年度はブランド

推進協議会事務局が常駐して施設の管理運営を行う。

問 施設は、町内企業からの賃借だが、その賃借料は年間いくら払うのか。
答 固定資産税相当額の年間270万円程度を町が支払う。

問 加工場の利用は誰でもできるのか。資格は必要か。

答 食品衛生法に基づく、山形県指定講習で取得可能な、食品衛生責任者の資格が必要。



もっと利用を「共同加工場」



孟宗で作った味付けメンマ（研修会）

補正予算審査
意見書採決結果
白熱最終日
一般質問
まちづくり政策提言
町民と議会の懇談会
遊佐人

教育現場でのデジタル対応は



あかつか えいいち
赤塚 英一
議員

町長

機器の整備と
教員研修を進める

問 これからの授業は、ノートや鉛筆などと同じようにタブレットを使わなければならない。そのための考え方と対応は。

答 すべての教室でインターネットがつながり、一人一人にタブレットが準備され、いつでもどこでも利用できる機器の整備を進めている。

問 教育への環境整備、方法など、これまでと違った考えが必要だが。

答 子どもたちの情報活用能力の育成、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業が大切。

問 子どもたちの教育水準を、どう保っていくのか。

答 教員の各種研修やICT活用をサポートするICT支援員の配置を計画している。

※ICT：情報通信技術の略
教育分野ではパソコン、電子黒板などを活用し、文字だけでなく動画や画像を活用した授業を行っている。



ICTを活用した授業風景（吹浦小学校）

風力発電

近隣住民の健康調査を



さいとう やしお
斎藤 弥志夫
議員

町長

健康被害の事実を確認し対応

問 風力発電から発生する低周波音などが人体に影響を及ぼす可能性があるが、データはあるのか。

答 合計11基が運転を開始しているが、低周波音等の調査データはない。

問 風車騒音と健康影響との関連を明確にすべきでは。

答 国内外で様々な研究が進められているが、低周波と健康の影響について、明らかな関連を示す知見は確認できていない。



近隣住民の健康調査を

問 体調を崩し、入院した人もいて、住民の健康調査を行う必要がある。

答 町に健康被害の事案は寄せられていない。健康被害を受けている方がいるとすれば、健康被害の事実を確認し、その結果を受け対応したい。

これも **質問**

問 小学校統合後の町職員の再配置は。

答 業務内容を見据えながら検討する。

これも **質問**

問 福祉灯油券未申請者には、代わりに商品券を。

答 灯油券は灯油に限定した助成である。

少人数学級は統合後も維持できるのか



みつやす 佐藤 議員

町長

教育山形「さんさん」プランを適用

問 コロナ禍にあって統合は、少人数学級の要請に逆行するのではないか。

答 国の基準は40人学級であるが、山形県は「さんさん」プランにより33人以内を適用しており、統合後も少人数は維持されると考えている。

問 統合の論議で特別支援学級はどのように扱われているか。

答 新校開校準備委員会の協議案件にはないが、教室が不足しないよう整備を行っていく。

これも 質問

問 住民基本台帳閲覧後の自衛隊による個人情報保護管理は。

答 法令に基づき適正に扱っていると認識している。

災害時のペット同行避難の更なる明確化を



ゆみ 松永 議員

町長

町民の理解を深めていく

問 同行避難とは災害時にペットを連れて避難することを指すが、町のマニュアルは町民にわかりやすくなっているか。

答 国のガイドラインや町の対応を広報等で啓発を行いながら、避難所開設訓練等で、ペット同行避難者の対応について町民の理解を深めていく。

問 ペット可とペット不可の避難所を前もって区分けすべきでは。

答 テント等の屋外係留所を設けることを想定している。ただし、状況により屋内の一室を解放することも検討する。

問 あらかじめ避難することを想定し、適切な飼いや飼育の啓発も重要では。

答 飼い主は予防接種や健康管理、しつけ、ペット用品の備蓄が必要。また、他の避難者への配慮も重要だ。

問 人間の基本を身につける徒歩通学の重要性を理解しているか。

答 「子どもと歩こう運動」YUZA宣言を基本に、心と体を丈夫にしていく考えは変わらない。



子どもと歩こう



「大丈夫? あなたとペットの災害対策」(環境省HPから引用)

これも 質問

問 新庁舎に若人の豊かな発想表現の場を

答 町出身者の作品をどんどん展示したい。

これも 質問

問 高齢化対策「つなぐカード」の提案

答 活用の際は情報管理を慎重に。

ふるさと納税 今後のスタンスは



ともひろ 知本 議員



遊佐町の魅力発信と
返礼品の充実

返礼品の充実

問 令和2年度のふるさと納税による寄附額が増えてきている。今後どのように活用していくのか。

答 制度の趣旨と、寄附者の意向に沿う形で、各年度に応じた重要施策や特色ある個別事業に優先的に財源充当していく。

問 ふるさと納税が増えることによる課題はあるのか。

答 3万件超の方々へお礼状、納税証明書の送付、返礼品送付業務が激増している。

問 返礼品充実のためにも特産品の開発は急務と
思うが取り組みは。

答 鳥海あわびやシャインマスカット等新たな農水産物の開拓、共同加工場での特産品開発等を進める。



これも返礼品「まえむき野菜」

マツ材線虫病対策は確実か



さとうしゅんたろう 佐藤 議員



終息を目指して
防除対策を実施中

防除対策を実施中

問 マツ枯れ被害木は基本すべてが伐倒処理されなければならぬ。年越枯れ木等の見逃しはないか。

答 伐倒処理後に被害木の症状が出る場合は、次年度の調査で把握し、伐倒処理を行っている。

問 国・県との連携を密接にとりながら実施しているか。

答 各関係機関等が連携し被害対策プロジェクト会議を開催。情報共有等で庄内一円の効果的防除を実施。

問 民地の被害木も対象として処理すべきではないか。

答 民地は各個人に任せられていたが、やまがた緑環税を財源にした補助事業の導入を検討する。



民地での被害木

問 通称サポカ―は万全ではない。誓約書で安全宣言を。

答 補助金交付申請の誓約書に加えることが可能か検討する。

コロナ禍での 小学校統合の再検討は



たかはし かんじ
高橋 議員

教育長

方針に基づき
計画どおり進める

問 新型コロナウイルス対策で教職員等への負担は大きく現場は混乱している。統合にあたっては教育環境を考慮し延期を検討すべきでは。

答 「遊佐町立小学校適正整備に関する基本方針」に基づき、新校開校準備委員会で協議しながら計画どおり進める。

問 新たな教室・駐車場の増設拡張に係る予算が多額ではないか。

答 費用の見直しを何度も行い、将来的な利活用も見据えながら計画を進めている。

問 空き校舎の活用計画もない中、統合準備だけが進んでいるのでは。

答 議論を進めるため、小学校統合後の校舎等活用にあたって考慮すべき課題を公表している。

これも質問

問 熊の出没数過去最多。対策は。

答 町民の安全を第一に必要な駆除を行う。



山形市立みはらしの丘小学校 増設された校舎

国の方針も踏まえ 消防団の改善を



たけし せいいち
藤 議員

町長

社会情勢を踏まえ協議

問 町の消防団員報酬（階級・団員）は年額2万円であるが、国は同3万6500円以上を求めている。対応は。

答 社会情勢の変化によりさまざまな意見が出てきているが、町と消防団

で共有し幹部会議で協議する。

問 総務省は消防団の装備品や制度でも改革を打ち出しているが。

答 資機材の更新等により、団員が活動しやすい体制づくりを進める。

問 先ごろ実施の全団員対象のアンケートは、どう活かすのか。

答 結果を踏まえて協議し、2年度中に今後の方向性を決定したい。

これも質問

問 洋上風力発電の知事からの意見照会に町では、どう回答しているのか。

答 環境保全のための配慮事項を求めた。



消防出初式

消防操法庄内大会

の 実現 を 目指 し

項目の「まちづくり政策提言」を提出

基本条例」に基づき、
議会の懇談会での意見も反映させた政策提言とした。



全文記録はこちら▲QRコード



くらし・防災・環境保全

- 災害に強い町を目指し、避難訓練や備蓄品の整備はもとより、ソーシャルネットワーク等を活用した防災情報の発信も
- 洋上風力発電事業は、幅広い町民の意見を県や事業者へ伝達を
- 月光川、日向川等の2級河川の支障木等について、県に対し速やかな対策の要請を
- 空き家対策は、相続に伴う手続きの呼びかけ、物件の利活用など総合的見地から取り組みを
- 町道の適正な管理に向けた予算の重点的な確保を



しらい自然館での避難所開設訓練



教育と文化の振興

- 町立小学校の統合について新校開校準備委員会の検討状況、財政的負担など必要な説明を
- 統合後の空き校舎の利活用について直ちに地域との協議を
- 小山崎遺跡の適切な現状把握と、展示施設等の調整

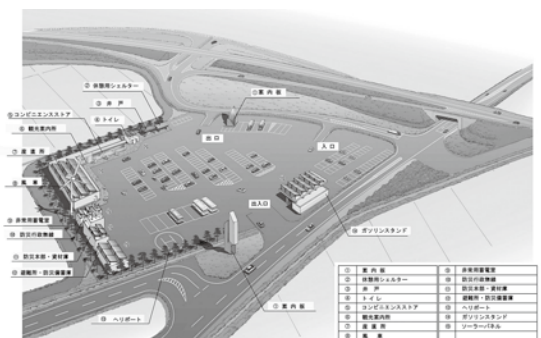


小山崎遺跡の常設展示を



町民参画・連携の推進

- 国が進める「自治体システムの標準化」の対応について、運営の効率化と最小限の財政投資に向けた県・他市町村との連携、協調を
- 遊佐パーキングエリアタウンは町民の意見を聴くため速やかな委員会等の設置を



PATイメージ図 平成26年度当初計画

よりよい暮らし



町民と議会の懇談会を整理し6

町民主役による自治を実現するための「遊佐町議会令和元年12月に提出した政策提言を検証、また町民と

提言
します

地域産業の育成と充実

- 令和3年産米の厳しい需給見通しを見据え
関係団体と連携し水田作の振興に全力を
- 住宅リフォーム補助制度のより柔軟な対応と一層の活用を
- 「地域活性化拠点施設」(旧八福神)の活用による
6次産業化の推進を



乾燥野菜とドライフルーツ（試作品）

提言
します

幅広い世代に選んで もらえるまちづくり

- 起業を目的とした移住者のための体制整備を
- 「住んでみたい遊佐町」として幅広い世代が選択できる
多様な施策の展開を



住んでみたい遊佐町

提言
します

暮らしやすいまちづくり

- 子育て世代が楽しく生活できる環境づくりと
放課後児童を見守る施策の更なる充実
- 「デマンドタクシー」が酒田市へ乗り入れが
可能となるよう調整を
- 高齢者の運動機能や体力アップにつながる施策のために
関連団体と協調を



いきいき百歳体操



そこがききたい
町民と議会の懇談会 第10回目

11月21日、役場・稲川まちづくりセンター・高瀬まちづくりセンターにおいて開催
※詳しくは議会HPまたは各まちづくりセンターと図書館に資料があります

新庁舎建設本体・外構工事契約額 (表1)

項目	総計
工事費	17億162万円
新庁舎土地造成工事	4970万円
本体工事	15億7300万円
外構工事	7315万円
機械警備設置工事	577万円
設計・監理委託料	8256万円
計	17億8418万円
内起債(借入)額	14億1570万円

*新庁舎建設本体・外構工事の施工に直接必要な事業費を計上しています。
*計画段階の事業費(基本計画・基本設計等)は計上していません。

新庁舎建設

問 新庁舎建設費は、およそ17億5千万円になっているが、これに解体費や備品費など追加になる費用を含めた金額は。

答 備品費、解体費については、まだ正確な金額が出ていませんが、これらにかかる費用は庁舎建設の基金より拠出する予定のようです。

(本体・外構工事費の内訳は表1に掲載)

問 新庁舎建設に伴う町民一人当たりの借金は今後どうなる。

答 33年間で償還することになり2051年度まで償還することになります。2021年度時点で、現在の町民一人あたり9万8千円ほどと試算しているようです。

問 新庁舎建設に係る議会の動きは理解できた。しかし、契約について6対5で採決、決定されたこと。議会が特別委員会まで設置して、どのような特色ある庁舎建設になったのか。

答 建設することに反対でなく、発注、入札の在り方を問題視され、表決の結果になったと理解しています。議会だより147号に討論の形で載せています。

高齢者への配慮、エレベーター設置のメンテナンス費用等の維持費等も考慮し、平屋の庁舎としたと理解しています。建設位置については、いくつかの案の中から、町民

の動線なども考慮し、現在工事中の位置に計画すべきと議長に報告をしました。

問 議会だより150号には「経常経費の削減と財政の硬直化が進行」とある。

遊佐町の財政 状況は健全であると説明があったが、ある新聞に遊佐町の財政状況は、黄色信号であるとの記事が載った。これに役場の建設費は入っていない。これを加えれば町の財政状況は、多分赤信号になると思う。先の説明は、この記事に反しているのではないか。議会ではどのように対応するのか、我々に具体的に説明してもらいたい。

答 報道は、要注意と記載されていたが、町の監査委員による財政健全化法に基づく決算審査では、「良好な状態」「適正な範



建設中の新庁舎

囲内」にあると判断したものです。

意見 11月14日の新庁舎見学会に行って思ったが、完成予定の時期にぜひ内覧会を実施して欲しい。

小学校統合

問 将来のことを考えて既存の校舎を建てたのか。以前の校舎を使っていたらお金がかからなかったはずである。小学校統合後の廃校利用はどうするのか。

答 子どもの状況や環境などを踏まえて令和5年度の統合になりましたが、統合後の校舎について藤岡小と高瀬小は、それぞれまちづくりセンターに使いたいという住民からの意向があります。

問 地域の学童保育等はどうなるのか。

答 今のところ具体的には決まっていない状況です。

問 小学校の統合により、現遊佐小学校以外では、子どもたちの声が聞こえなくなり淋しくなるの思いをしている。子どもたちの声が地域に届くような工夫を、是非考えていただきたい。

答 子どもたちの声を残す方法をみんなで考えるべきで、時代にあった施策の提言を議会として行っていきたいと思います。地区の祭りなどは、まちづくり協議会単位で、子ども

もたちにつながるよう提言すべきと思いますが、まちづくり協議会の負担にならないよう配慮も必要と思います。

問 統合後の校舎の活用については、各まちづくり協議会で協議していると思うが、最終的には町側が決めるんだと聞かされてくる。事柄が決まってから苦情や意見が出るより、その前に町民の意見を聞いて議会の施策に反映していただきたい。

答 統合後の校舎の扱いは、議会としても大きな課題の一つと認識しています。統合後は、企画課に所管が移ることになりませんが、今後、協議すると聞いています。

岩石採取

問 仙台高裁における和解交渉の状況はどうだったのか。

答 和解協議は、原告の採石業者から示された内容で行われたとの報告が

ありました。採石業者が示した金額と町の想定した金額の隔たりが大きく、和解にはいたりませんでした。

日沿道とPAT

問 丸子付近にパーキングエリアタウンを建設する構想で動いているが、具体的な話はあるのか。

答 無料区間であることから、尾花沢の道の駅のように、利用するには一旦、道路を降りなければならぬ。高速道路からすんなり入れるのか。

答 具体的な計画は進んでいない状況にあります。町としては従来の高速道路のパーキングエリア・サービスエリアのような

問 遊佐PATにはどのような機能があるのか。

東回り県道については吹浦地区との関連もあり、345号線とのつながりも大切である。

答 遊佐PAT基本計画には4つの機能が盛り込まれています。

問 重点「道の駅」を目指す必要があるということだが、なぜ「重点」なのか。

答 重点「道の駅」に選考されると、有利な補助制度の活用が図られるようです。

その他なんでも

問 町道が全路線的にセンターライン、サイドラインが消えていて、白線が無いので危ない。何かあってからでは遅いので整備できないか。

答 政策提言に盛り込み、担当課に早急な対応を要請しています。

意見 シンボルタワーに花壇があり農協の職員が世話をしていたが、今は何もない。ふらっと前のあたりに花を植えては。花壇の整備やゴミ拾いを

問 各まちづくり協議会職員の報酬について検討するとあるが、どうなっているのか。

答 国の働き方改革で臨時職員にもボーナスの支給があり、人件費が増えています。各まちづくり協議会でもそれに準じた

もっと徹底して取り組めないか。あとエルパの花壇はなぜなくなったのか。

参加者からの声 エルパの駐車場を出入りするにあたり、見通しが悪く危ないので撤去した経緯がある。



季節の花壇を演出 (駅前一区の皆さん)

支給の必要があり、その辺の上乗せを要請していますが、総額予算が固定しているのが課題だと認識しています。引き続き取り組みます。

要望 強く要望して欲しい。

問 消防団のなり手不足や会計

にかかると問題はどうなったのか。地域から消防団がなくならないよう、しっかり取り組んでもらいたい。

答 若い人がいないわけではないが、共働きなど家庭の事情もあり、集落の行事にも出られない若い人もいます。議会としても、議論していきたいので時間をいただきたいと思っています。

問 鳥海山をどう発信(活用)していくか。
答 現在、鳥海山飛鳥ジオパーク再認定に向けて努力しているところですが、

今後、高速道路がつかねれば交流人口は増えるので、ジオパーク・パーキングエリアタウン等活用を考えながら発信すべきと考えます。

問 令和2年度の政策提言に対して実際にどのような事業が行われたのか、いくらの予算

がついているのか。

答 昨年提出した政策提言は、令和2年度版遊佐町の主要施策に載っている項目に準じて、より良いものになるように提案しました。令和2年度の事業の成果については、半年しかたっていないのであえて結論は出していない状況です。もう半年あるので、ご意見があれば町に伝えていきたいと思っています。

問 議員のなり手不足の問題について、どう取り組んできたのか。

答 庄内町議会とは議員報酬増も含めて意見交換をしています。具体的な解決策は見えていない状況にあります。議会の活性化に向けて今後も、なり手不足に関する調査研修活動を続けていきたいと思っています。

洋上風力発電

問 洋上風力発電について、町が了解したのか。

西遊佐から吹浦の砂丘地帯における湧水への影響を心配する。また、高さ260mの物が50〜60基、日中はぐるぐる回り、夜間は点滅するとすると、ストレスが強く、町全体が安心して住めないことになるのではないか。

答 最終的な事業者の決定は国が行いますが、町・町民は環境影響評価の段階で意見を述べることができます。



十六羅漢からの眺望

事業者によれば、湧水については分からないことだらけで、その他についても設計をしながら考えていかなければならない状態であると聞いています。

議会として、町民の不安に寄り添う形で知事に宛て、意見書を出すことで調整していますし、今後、力を入れていかなければならない分野であると考えています。

問 風車が立ったフォトモニタージュ図を出して欲しい。風車の高さが260m位。火力発電所の煙突は180m

ほどである。洋上に関する景観の規制はないようであるが、イメージがでない。

答 説明会は、町が県に要望して行っています。フォトモニタージュは、町からも県に要望していることを確認しています。

いわせてもらおう

企業誘致

要望 提言書には、企業誘致の言葉がどこにも出てこない。守りの町政のように見える。地道な企業誘致活動を行うことを要望したい。

遊佐高校支援

問 県立遊佐高校への手厚い支援は、遊佐高校を活性化させることで素晴らしいことだとは思いますが、その支援に反対の意見を持つ方も多いと感じる。費用対効果の面で問題はないのか。遊佐高校に在籍する町民はどのくらいいるのか。その分、町民100%である小中学校の教育に投入して、情操豊かな、語学力が堪能な子どもたちが育成されていくような使い方に変えていくことができないのか。現在の遊佐高校支援はよく分からないので、アンケート調査してみ

たい。

はどうか。

遊佐高校は県立なのに、なぜそんなに遊佐町が支援しなければならないのか。遊佐高校がなくなつた場合、どのような弊害があるのか自分では分からない。

このような意見の町民も少なからずいるということを知っていたらいい。

答 議会全員協議会でも、遊佐高校生だけに交通費を出していいのかとの意見もあります。教育に関することは、費用対効果だけで判断していいのかとの考えもあります。また、支援の財源はふるさと納税となっています。

議会に望むこと

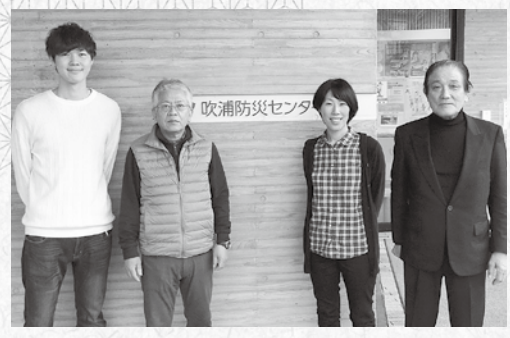
意見 新庁舎の件をはじめ、すべてが終わってから議会で質問などとしても意味がない。決定する前に十分な議論を行うよう取り組んでもらいたい。

シリーズ 遊佐人 4 Yuzajin

未来への風が吹くまち

吹浦地区まちづくり協議会

遊佐弁は地区によって趣が変わります。それぞれの遊佐弁で語る遊佐人に会いに行きます。4回目は吹浦地区まちづくり協議会です。



吹浦地区まちづくり協議会のスタッフ

吹浦地区の魅力は、恵まれた自然と、そこに根付いた生活から生まれ、受け継がれた数々の伝統文化や歴史的遺産。ユネスコ無形文化遺産に登録された女鹿・滝ノ浦・鳥崎の3集落に伝わる小正月行事「アマハゲ」に続き、箕輪地内の「小山崎遺跡」が国指定史跡に登録されました。

鳥海山、日本海、月光川の豊かな自然に囲まれた吹浦地区。17の集落から形成され、約750世帯におよそ20000名の方々が日々の暮らしを営

また、古より私たちの生活を潤してきた牛渡川や丸池様、吹浦地区の各地から湧き出る鳥海山の伏流水は、いまや遊佐町



みんなが主役の集落オンステージ

「わくわくフェスタ」 「オンステージ」

地区住民一人ひとりが地域の主役としての自覚を持ち、自発的・継続的に伝わる小正月行事「アマハゲ」に続き、箕輪地内の「小山崎遺跡」が国指定史跡に登録されました。

にまちづくりに参加していただけるような活動に取り組んでいます。なかでも、集落内で企画し、センター秋祭りの

「わくわくフェスタ」で披露する「集落オンステージ」は、子どもから大人までが一丸となってステージに取り組む目玉行事として、毎年大きな感動を地域にもたらしています。

今後吹浦の団結力を象徴する行事として引き継いでいければと考えています。

また、地域の環境とニーズに合わせた活動では、月光川河口から牛渡川上流までカヌーで遡上し、自然景観やリバースポーツの楽しさを同時に体感できる「わくわくカヌー体験」。

地区内の日本酒好きの



「吹浦」でしか味わえない体験を

町に望むこと

吹浦地区は豊かな自然に恵まれている反面、津波や土砂崩れ等の自然災害も身近にあります。新型コロナウイルス対策も含めた、災害に対するヒト・モノの備えの強化をお願いしたい。具体的には

- ① 防災倉庫の備品等の見直し、より一層の充実
- ② 町と地域住民が一体となつての避難所開設・運営の訓練など

吹浦地区まちづくり協議会 談

- 会長 佐藤 勇司
- 事務局長 高橋 淳史
- 事務局員 赤塚 縁
- 那須 大介

議会より

《議会は住民の代表》
地方分権の下にあって、「牽制均衡」の原則から、議会による施策立案のためにも、常に住民と一体であると考えます。

また、地域の環境とニーズに合わせた活動では、月光川河口から牛渡川上流までカヌーで遡上し、自然景観やリバースポーツの楽しさを同時に体感できる「わくわくカヌー体験」。

地区内の日本酒好きの

議会を傍聴してみませんか 2月定例議会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。
2月定例議会は、本会議と補正予算・予算審査特別委員会が議場で行われます。
一度傍聴してみませんか？

2月定例議会の予定

- 2月15日(月) 本会議・常任委員会
- 2月16日(火) 補正予算審査特別委員会・施政方針
- 2月17日(水) 一般質問
- 2月18日(木) 一般質問・予算上程
- 2月19日(金) 常任委員会
- 2月22日(月) 常任委員会
- 2月25日(木) 予算審査特別委員会
- 2月26日(金) 予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

表紙の写真

雪はともだち

炬燵こたすに丸まっついていないで思
い出してみよう。
雪の上でも少しも寒くな
かった頃を。

たまたま通りかかっ
た遊佐小学校のグラウ
ンドでは、短い休み時
間を使って自然から元
気をいただいている子ど
もたちに出会った。
雪だるま作りや雪
合戦。雪玉をすり抜



けて走る子らも。その歓声
は、冬の重い雪雲をけちら
しているようだ。
コロナに打ち勝つ手段を
私たちは備えているはず
だ。それは私たちの手の中
にある。

議会クイズ



令和2年11月1日第150
号の議会クイズには55名の
方の応募があり、53名の方
が正解でした。
抽選の結果次の10名の方
が当選し、あぼん入浴券
(3枚)をお届けします。

- A 鳥海あわび
- B 鳥海さざえ
- C 鳥海なまこ

③吹浦地区まちづくりセ
ンター秋祭り披露して
いるステージの名称は。
A 歌謡ステージ
B 集落オンステージ
C ワンマンステージ

応募方法

ハガキに答えの記号
(例①A ②B ③C)
それに住所、氏名、年齢、集
落名を書いてください。
(正解者の中から10名様に
今回より町内の米くちゃん
スタンプカード加盟店で使
用できる『米くちゃんスタ
ンプカードお買い物券
1000円分』をお届け
します。応募者の個人情報
報は、この議会クイズ以外
の目的には使用しません)

問題

- ①遊佐元町街路灯の修繕は、
12月定例議会で議決後、
残り何基を修理予定か。
A 80基
B 16基
C 64基

②ふるさと納税返礼品に
新たに加えられたのは。

☆ハガキの余白に答えのほ
か議会への「要望」ご意見を
いただければ大歓迎です。
あて先/99-8301
遊佐町遊佐字舞鶴211
役場内 議会事務局
締め切り2月25日
発表は次号です。

訂正しておわびします

令和2年11月1日第150号記念
座談会記事で、ご参加いただい
た阿曾一恵さんは、「包括支援
センター」ではなく、「ケアプ
ランセンターゆうすい」のケア
マネージャーでした。

また、阿曾さんの発言での、
配食ボランティアの不在は、社
会福祉協議会が行っている配食
サービスではなく、自治体の基
準から離れた方へのサービス
(酒田市等では民間事業者も配
食)であり誤解を招く記載とな
りました。併せて訂正しおわび
申し上げます。

- 発行人 土門 治明
議長 阿部 満吉
議会広報常任委員会
委員長 那須 正幸
副委員長 菅原 和幸
委員 齋藤 武
委員 佐藤俊太郎
委員 本間 知広